

科目名	病態解析学								
英文科目名	Clinical Pathology Exercises								
担当教員	川良徳弘、瀧田悦子								
授業形態	講義								
学年	4 年	クラス	1	開講学期	前期	単位区分	必	単位数	2
ディプロマポリシー	臨床検査技師として必要とされる基本的な知識・技術を修得し、活用できる。 / 患者や他の専門職と適切にコミュニケーションする能力をもち、チームの一員として協調して行動できる。								
授業の目的・到達目標	【授業目的】 疾病の病態、経過、治療と検査の概要を把握した上で、具体的な検査結果を解釈し、判断することにつなげる。個々の症例に検査を当てはめて考えることで、学生は検査の大切さを感じ、その詳細を印象深く記憶に残すことができるようになる。 【到達目標】 1. 高血圧の経過を説明できる。 2. 腎・泌尿生殖器疾患の経過を説明できる。 3. 代謝疾患の経過を説明できる。 4. 血液疾患の経過を説明できる。 5. 循環器疾患の経過を説明できる。 6. 消化器疾患の経過を説明できる。 7. 電解質・酸塩基平衡障害の経過を説明できる。 8. 救急疾患の経過を説明できる。 9. 悪性腫瘍の経過を説明できる。								
授業概要	1. ガイダンス、高血圧と検査 2. 腎疾患と検査 3. 泌尿生殖器疾患と検査 4. 代謝疾患と検査1 5. 代謝疾患と検査2 6. 血液疾患と検査1 7. 血液疾患と検査2 8. 循環器疾患と検査1 9. 循環器疾患と検査2 10. 循環器疾患と検査3 11. 消化管疾患と検査1 12. 消化管疾患と検査2 13. 肝胆脾疾患と検査1 14. 電解質異常・酸塩基平衡障害、救急医療と検査 15. 悪性腫瘍と検査								
学習演題 予習・復習	【予習】各回2時間程度 2学年で履修した「臨床医学総論II」で用いた教科書・参考書・プリントの該当分野を通読し、以下の症状・症候を呈する疾患についてまとめておく。 - 第1回 高血圧症、低血圧症 - 第2回 糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、腎不全 - 第3回 腎・尿路結石、尿路感染症、腎・尿路腫瘍、生殖器疾患 - 第4回 糖尿病、低血糖症 - 第5回 脂質異常症、痛風、生活習慣病・肥満症 - 第6回 貧血、白血病・骨髄増殖性腫瘍 - 第7回 悪性リンパ腫、骨髄腫、血小板減少症、出血性疾患 - 第8回 虚血性心疾患、心臓疾患、脈管疾患 - 第9回 心不全、先天性心疾患、弁膜疾患、心筋疾患 - 第10回 不整脈、神経調節性失神 - 第11回 消化性潰瘍、腸閉塞、悪性腫瘍 - 第12回 炎症性消化管疾患、過敏性腸症候群								

	第13回 肝疾患、胆嚢・胆道系疾患、脾疾患 第14回 酸塩基平衡障害・電解質異常・意識障害 第15回 悪性腫瘍、摂食障害 【復習】各回2時間程度 授業で提示された症例ごとに病態を見直し、行った課題を振り返る。 第1回 高血圧を呈した症例 第2回 蛋白尿を呈した症例 第3回 血尿を呈した症例 第4回 高血糖を呈した症例 第5回 脂質異常を呈した症例 第6回 貧血を呈した症例 第7回 出血傾向を呈した症例 第8回 胸痛を呈した症例 第9回 呼吸困難を呈した症例 第10回 動悸・失神を呈した症例 第11回 消化管出血を呈した症例 第12回 下痢症を呈した症例 第13回 腹痛・黄疸を呈した症例 第14回 酸塩基平衡障害・電解質異常・意識障害を呈した症例 第15回 体重減少を呈した症例
授業方法	代表的疾患に関連する検査とその結果の用い方を解説する。 学生は、臨床症例（配布資料）の経過・検査データから患者の病態を推論する。 学生同士の対話を軸にして授業を進める。
成績評価の基準	筆記試験（100%）
教科書	「最新臨床検査学講座 病態学／臨床検査医学総論 第2版」医歯薬出版／奈良信雄 他編／2021年3月／ISBN978-4-263-22382-6
参考書	なし
実務経験のある教員による授業	○
実務経験の内容	医師として一般内科、循環器内科、不整脈診療に従事した経験を持つ（川良）。
実務経験の当該科目への活用	患者の訴え、身体所見を基に検査を行って診断、治療選択、病勢の把握に至る過程を提示し、学生が病態を把握したり、検査結果を解釈したりするのを促す。